

# 行政事業レビューシート サブシート

事業番号 補正 11 - 3

<b>予算事業名</b>	鑑識に必要な物品購入等	<b>事業開始年度</b>	-			<b>作成責任者</b>
<b>担当部局庁</b>	警察庁	<b>担当課室</b>	犯罪鑑識官			犯罪鑑識官 相浦 勇二
<b>会計区分</b>	一般会計	<b>上位事業</b>	犯罪鑑識			
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	警察法第37条第1項第4号 警察法施行令第2条第4号	<b>関係する計画、通知等</b>	-			
<b>事業概要 (5行程度以内)</b>	<p>捜査を取り巻く環境の悪化、裁判員制度の導入等により、従来にも増して客観的証拠の収集が必要とされる中で、複雑・多様化した犯罪情勢に対処していくためには、鑑定資機材を有効活用し、犯罪現場に残された微細・微量な資料を迅速・的確に採取・鑑定して得た客観的証拠を捜査に反映させることが重要である。このため、鑑定資機材の経年による劣化又は故障のため鑑識・鑑定業務に支障を来すことがないように減耗更新を遅らせることなくその整備を図るとともに、複雑・多様化する犯罪に対応可能な資機材を整備して、第一線警察の科学捜査力を強化するものである。</p>					
<b>実施状況</b>	<p>補正予算(第1号)で、警察庁に犯罪鑑識官に必要な資機材等を整備し、都道府県警察では、現場鑑識活動に必要な資機材等を整備し、補正予算(第2号)で、検視関係資機材等を整備した。 なお、補正予算(第2号)については、翌年度へ繰越している。</p>					
<b>予算の状況 (単位:百万円)</b>		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	-	-	4,083	47	-
	執行額	-	-	3,988	-	-
	執行率	-	-	98%	-	-
	総事業費(執行ベース)	-	-	3,988	-	-
<b>自己点検 (使途の把握水準や見直しの余地等)</b>	<p>各種資機材については、客観的証拠の収集のため引き続き整備する必要がある。 多くの資機材は警察庁において一括調達しているため、支出先については把握している。 契約に際しては、一般競争入札を実施するとともに、今後も過去の調達実績の反映や、より競争性を高める仕様への見直しを図るなど、引き続き予算の適正な執行に努める。</p>					
<b>資金の流れ / 費目・使途</b>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">警察庁 3,988百万円</div> <p style="text-align: center;">〔警察庁及び都道府県警察に必要な資機材を整備。〕</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">〔一般競争入札〕</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">A. 民間会社(17者) 3,988百万円</div> <p style="text-align: center;">〔警察庁及び都道府県警察に必要な資機材を納入。〕</p>			A. 加賀ソルネット		
	費目	使途	金額 (百万円)			
	物品購入費	動的ひずみ測定装置等の購入	975			
	計		975			

【A. 上位10者の支出先】					
支出先	内容	金額 (百万円)	支出先	内容	金額 (百万円)
加賀ソルネット(株)	動的ひずみ測定装置ほか	975	パナソニックシステムソリューションズジャパン(株)	被疑者写真用デジタルカメラほか	185
日本ダイオネット(株)	イオンクロマトグラフの購入	857	(株)リガク	X線解析装置の購入	150
ライカマイクロシステムズ(株)	比較顕微鏡等の購入	757	(株)イケワン	超音波検査装置の購入	87
(株)三啓	比較顕微鏡の購入	348	春日電機(株)	静電気微物採取器の購入	69
ティアック(株)	ポリグラフ装置の購入	313	(株)システムエンジニアリング	現場文書鑑定撮影装置の購入	66
B.			【B. 上位10者の支出先】		
費目	使 途	金額 (百万円)	支出先	内 容	金額 (百万円)
計		0			
C.			【C. 上位10者の支出先】		
費目	使 途	金額 (百万円)	支出先	内 容	金額 (百万円)
計		0			

Aブロック以外の  
支出先等  
(1枚目に収まらない場合)

## 平成21年度補正予算において整備した主な鑑識資機材

【平成21年度補正予算(第1号)】

比較生物顕微鏡		比較顕微鏡	
	透過型の顕微鏡が2台接続されており、比較しようとする2つの資料を同一視野で拡大して観察することができる装置。		反射型の顕微鏡が2台接続されており、比較しようとする2つの資料を同一視野で拡大して観察することができる装置。
動的ひずみ測定装置		現場文書鑑定撮影装置	
	交通事故における、車両の変形状況、運行記録計の精密解析、車両制御ユニットからのデータ抽出、労災事故における、機械・構造物の力学解析、劣化状況、殺人・傷害事件における、凶器の打撃力等の測定を行う装置。		赤外線を使用し不鮮明文字の検出及び画像取り込みが行える。
ポリグラフ装置		被疑者写真撮影用デジタルカメラ	
	被疑者に対して、犯人しか知り得ない事実と事実とは異なる質問を行い、その際の皮膚電気反応、呼吸運動、脈波及び脳波等といった生理反応指標を記録し、特異反応を読み取って判定を行い、犯罪事実の究明に利用する装置。		被疑者を逮捕した際等に、その者の上三分身の正面、右斜側面及び全身等を写真撮影し、これを組織的に管理・運用して犯罪捜査に活用しており、全国的に統一された被疑者写真を撮影する必要がある。その被疑者写真を撮影するためのデジタルカメラ。

【平成21年度補正予算(第2号)】

小型冷却遠心機		三次元顔画像識別システム	
	死体から採取した血液に強大な遠心力をかけることによって、血清とそれ以外の成分とに分離する装置。 現在、血液中の薬物含有の有無を判定する場合は、科学捜査研究所で実施しなければならず、薬物使用の判定に相当の時間を要している。		被疑者の顔の3次元データを取得し、防犯ビデオに映し出された犯人の顔画像と同じ大きさ・方向に調整して、重ね合わせを行い、被疑者と防犯ビデオの人物が同一かを調べる装置。